



江崎 浩 (ESAKI Hiroshi)

東京大学大学院情報理工学系研究科 教授

九州大学工学部卒業、
同大学院工学系研究科修士課程修了。
工学博士(東京大学)。

1987年～1998年 株式会社 東芝 総合研究所 (現 研究開発センター)、1990年～1991年米国ニュージャージー州ベルコア社客員研究員、1994年～1995年米国ニューヨーク市コロンビア大学客員研究員。1998年東京大学大型計算機センター助教授、2001年東京大学大学院情報理工学系研究科助教授を経て、2005年4月から現職。

専門は、インターネット工学、情報工学、通信工学。WIDE プロジェクトボードメンバーとして、日本のインターネットの創設に貢献し、現在は、次世代インターネットアーキテクチャに関する研究開発を行うとともに、インターネット技術、インターネットアーキテクチャの環境・エネルギー対策などの新領域への適用を、産官学での協力体制を構築しながら進めている。

主な著書に、『なぜ東大は 30%の節電に成功したのか?』(幻冬舎)、『インターネット概論』(共立出版)、『ネットワーク工学』(数理工学社)、『RFC 辞典』(アスキー出版)、『インターネット辞典』(I&E 研究所)、『IPv6 教科書』(インプレス R&D)、『P2P 教科書』(インプレス R&D)、『MPLS 教科書』(インプレス R&D) など、他論文多数。

現在、WIDE プロジェクト代表、東大グリーン ICT プロジェクト代表、MPLS-JAPAN 代表、IPv6 普及・高度化推進協議会専務理事、JPNIC 副理事長、ISOC (Internet Society) 理事 (Board of Trustee)、IPv6 Forum フェロー、IPv6 Ready Logo Committee Chair など、インターネットおよび情報通信分野における先端技術および運用・政策に関する組織の役員多数。

1998年日刊工業新聞社十大製品賞、2003年および2004年総務大臣表彰 (グループ受賞 グループリーダ)、2004年 IPv6 Forum Internet Pioneer Award、2008年 船井情報科学振興賞 などの表彰多数。